

政策会議 議事概要

1. 審議日時：令和8年7月16日（木） 11時00分～11時30分
2. 場 所：第1会議室
3. 事 案 名：公立保育園における給食調理業務体制について
4. 出 席 者：市長、林副市長、柳生副市長、建設局長、市長公室長、企画財政部長、
総務部長、行政経営課長、秘書課長
＜所管部局＞健康福祉局長、地域子育て部長、保育運営課長
＜事務局＞政策企画課長、同課課長補佐
5. 審議概要：

(1) 事案の論点

令和元年の政策会議において決定した「給食調理員の確保について、会計年度任用職員での任用を基本とし、常勤職員の新規採用は行わない」とした方針を見直し、常勤職員の採用を再開する。

(2) 説明概要

- 平成10年度以降、給食調理員については常勤職員の新規採用を行っておらず、近年高齢化が進んでおり、再任用職員を含めた平均年齢が59.2歳となっている。
- 令和8年4月1日時点で本市の公立保育園27園のうち、常勤職員不在の園が6園（令和7年度は2園）ある。
- このまま採用しなかった場合、令和14年度には現状の半数近い10人まで常勤職員が減少する見込みである。
- 給食調理員については会計年度任用職員で運用可能と判断していたが、ノウハウの継承や安定的な体制づくりのため、常勤職員を確保したい。

(3) 質疑・意見等

- 常勤職員が不在となっている園について、給食は問題なく提供できているのか。

（回答）常勤の栄養士が調理を手伝うほか、現時点では長く働いている会計

年度任用職員も在籍していることから支障なく提供できている。今後それらの経験やノウハウを継承する相手として常勤職員を採用したい。

- 段階的に採用していくことが望ましいが、現在常勤職員が不在となっている園の手当はどうするのか。

（回答）可能な限り早く補充したい。

- 採用はいつごろ行いたい意向か。

（回答）総務部と協議のうえ、可能な限り早く採用したい。

(4) 審議結果

提案どおり了承する。